

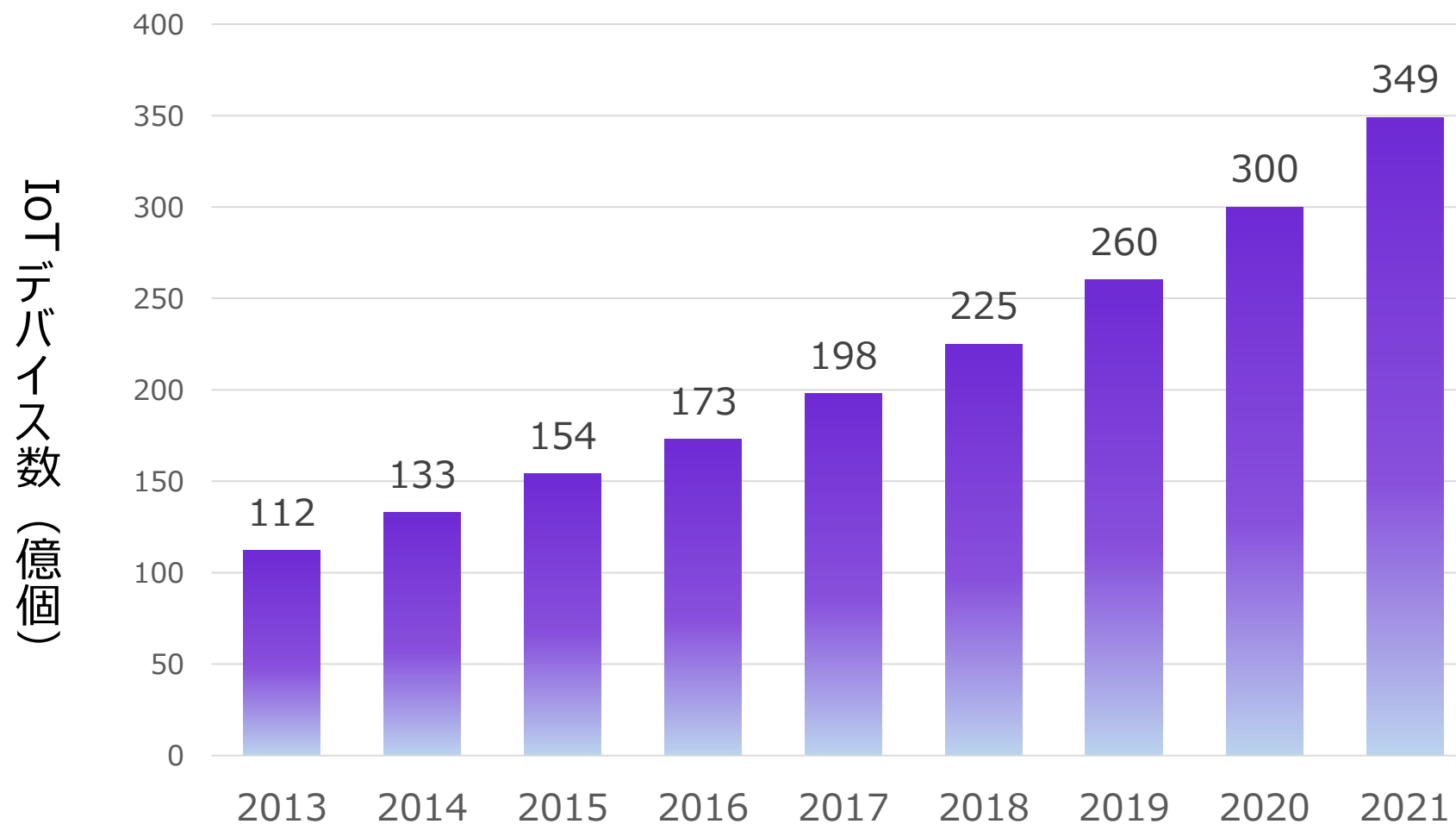
Sigfoxハンズオン 大阪イノベーションハブ x KCCS

京セラコミュニケーションシステム株式会社

2018年3月6日

HashTag : #sigfox

2020年、世界で300億を超えるIoTデバイスが普及



引用：平成29年版 総務省情報通信白書

IoTが抱える現状の課題

消費電力 (電池寿命)



簡便性 (クイックスタート)



コスト



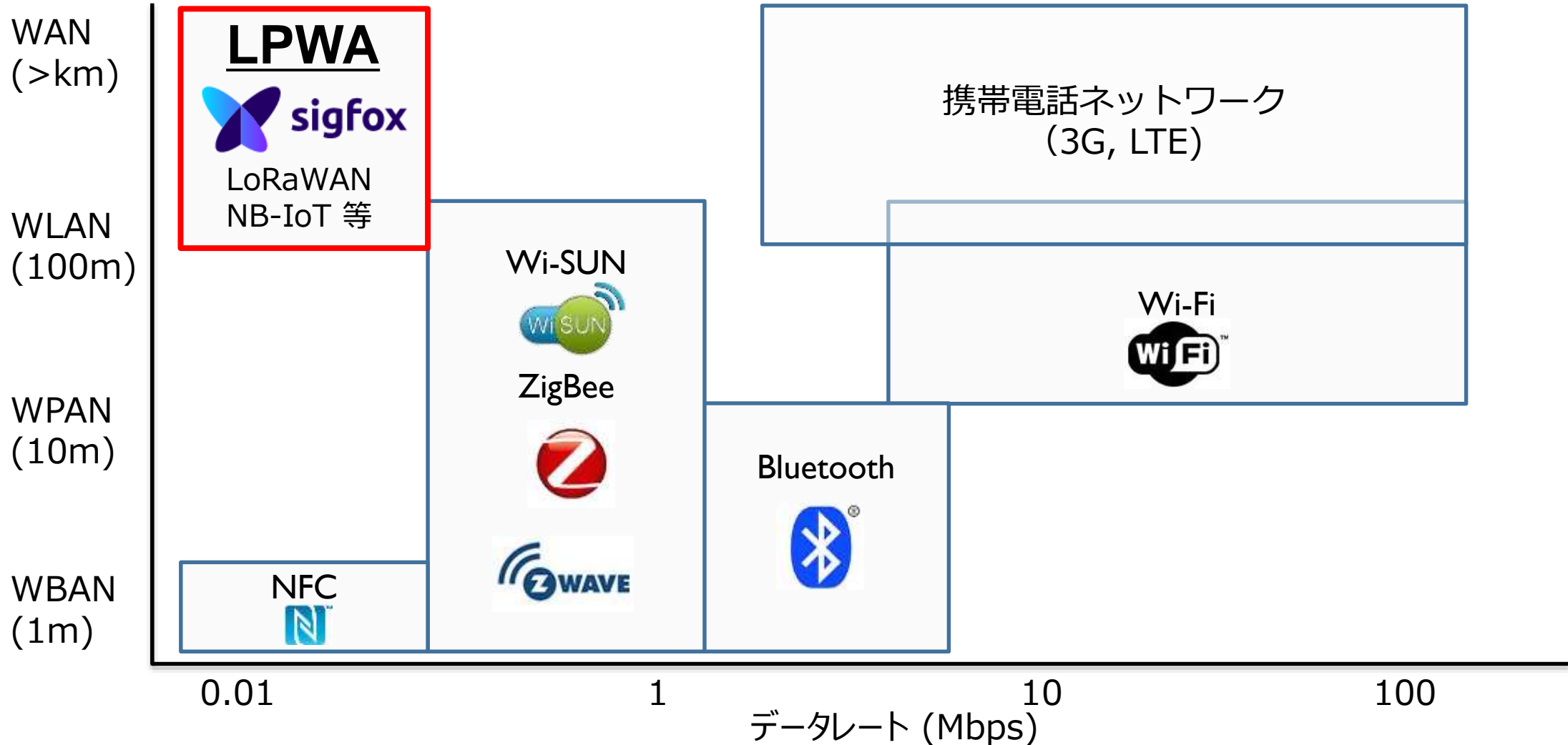
グローバルリーチ



LPWAネットワークとは

少量データ⇒センサ
低消費電力⇒電池

大容量データ⇒動画、音声
消費電力大⇒電源確保要



LPWA : Low Power Wide Area

社 名 : Sigfox S.A.

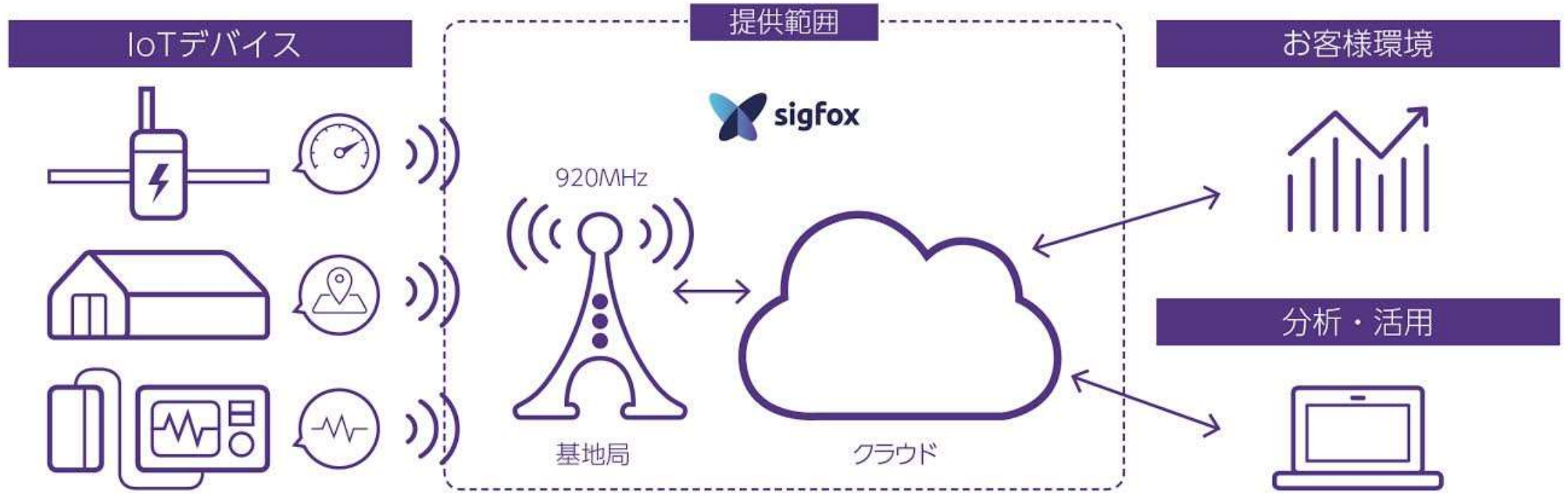
設 立 : 2009年

本 社 : フランス



- LPWAに特化した**グローバル通信事業者**
- **1国1事業者**と契約し、その事業者がネットワークを構築運用
- **12バイト**のデータを送る UNB（ウルトラナローバンド）通信

Sigfoxネットワークサービス



1

低消費電力

バッテリー・乾電池で数年間稼動

2

低コスト

1回線（デバイス） 年額100円～

3

簡便化（クイックスタート）

- ・ Sigfoxクラウドの提供
- ・ SIM／ペアリング設定 必要なし

4

グローバル展開

Sigfox グローバル展開

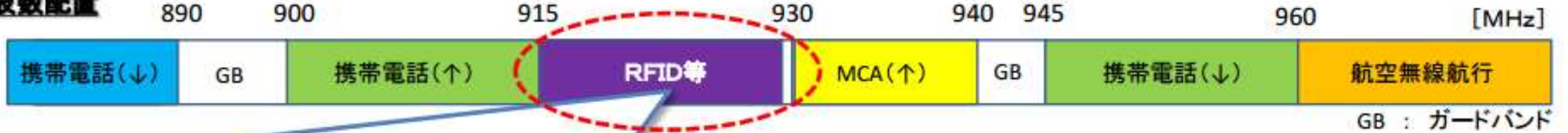
KCCS
Exceed. Succeed.



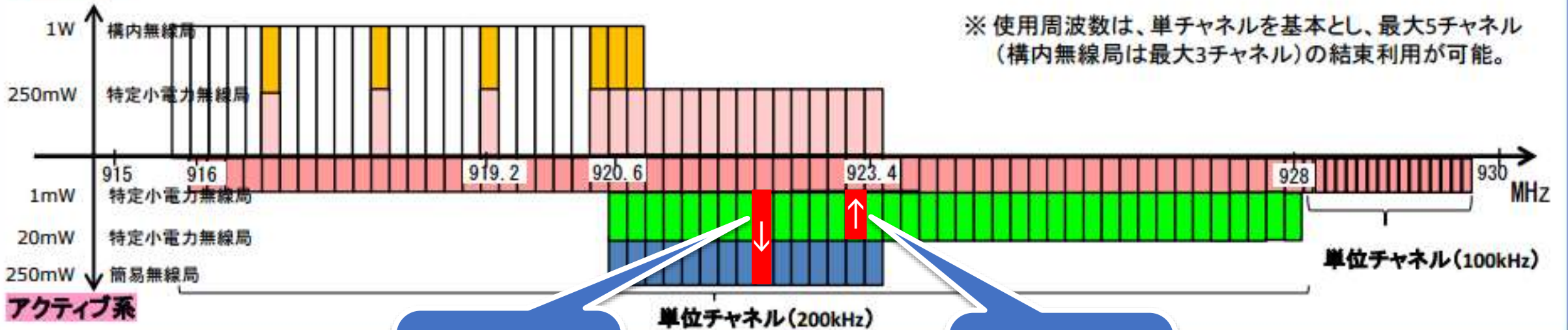
※2018年3月現在

920MHz帯小電力無線システム

周波数配置



パッシブ系



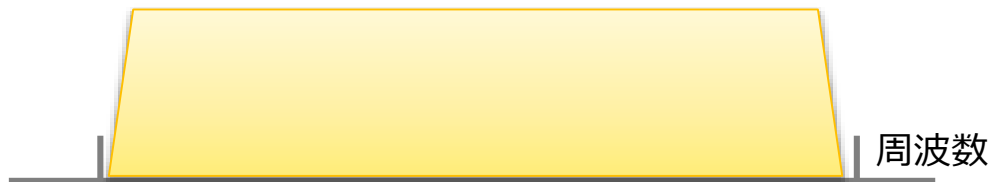
Sigfox
Downlink
922.2MHz

Sigfox
Uplink
923.2MHz

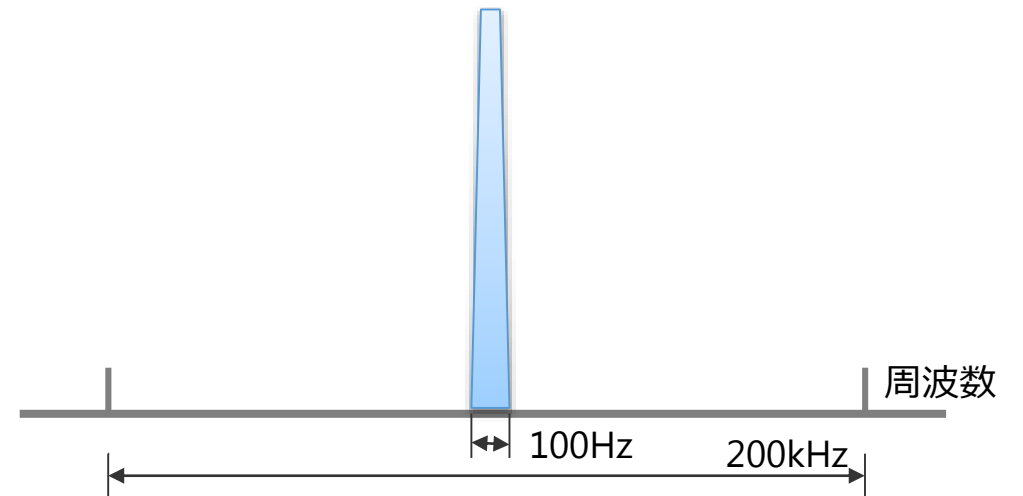
総務省情報通信審議会資料抜粋

Sigfox UNB（ウルトラナローバンド）通信

無線アクセス制御	ランダム・アクセス
変調方式	シングルキャリア： SSB-SC + D-BPSK
データレート	100bps
使用チャネル幅	200kHz
シングルキャリア周波数帯幅	100Hz
送信電力	20mW以下
最大送信継続時間	2s

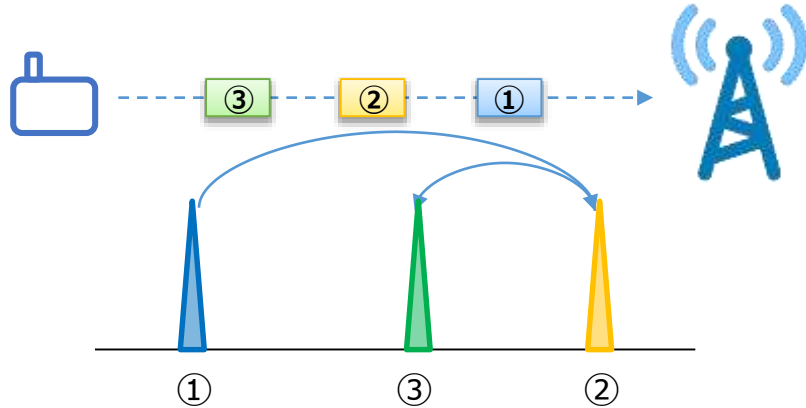


一般的な無線通信の
周波数利用イメージ

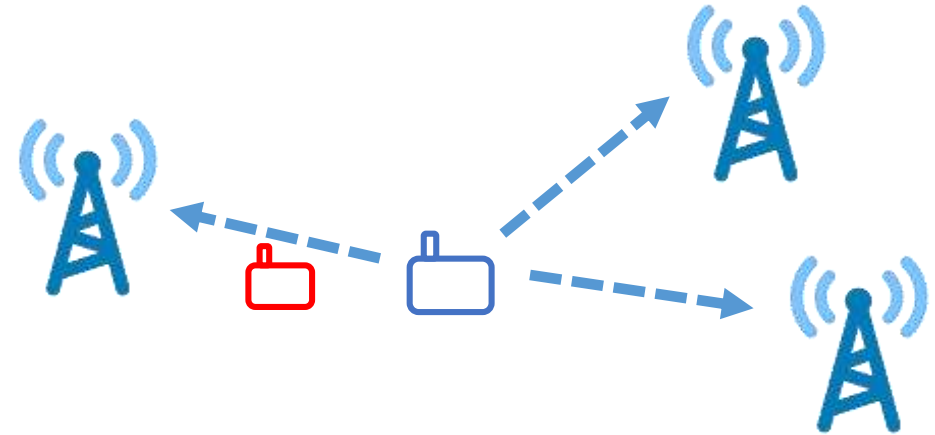


Sigfox通信（UNB）

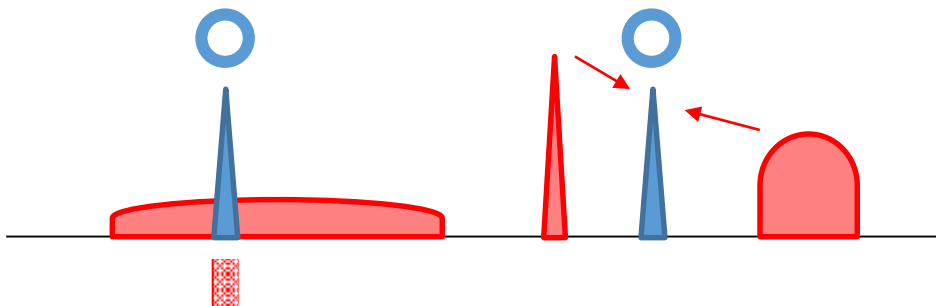
- 複数回フレーム伝送 (Time Diversity)
- 周波数ダイバーシチ (Frequency Diversity)



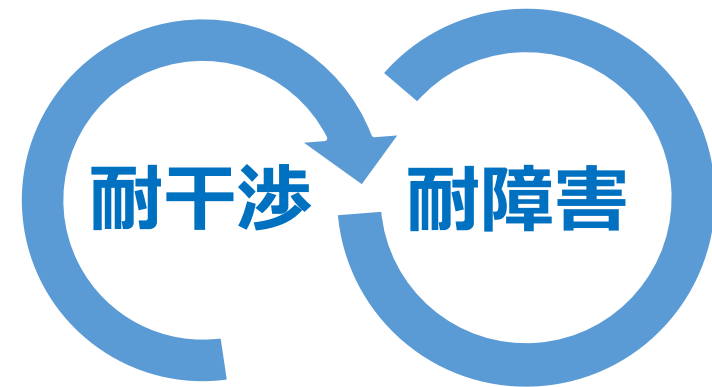
- スペースダイバーシチ (Space Diversity)



- 狭帯域信号特性 (Ultra Narrowband Efficiency)



干渉源の一部のみ影響



日本国内(920MHz帯)および諸外国の技術基準



	Up Link	Down Link
Center Frequency (MHz)	868.130	869.525
Max ERP	25mW	500mW
Duty cycle	< 1%	< 10%



Ministry of
Internal Affairs and
Communications



	Uplink	Downlink
Center Frequency (MHz)	923.2	922.2
Max ERP	20mW	TBD
LBT Carrier Sense	LBT 5 msec	LBT 5 msec



(North America)

	Uplink	Downlink
Center Frequency (MHz)	902.2	905.2
Max EIRP	250mW	4W
Frequency Hopping	FCC Part 15-247	FCC Part 15-247



(Asia & South America)

	Uplink	Downlink
Center Frequency (MHz)	920.8	922.3
Max EIRP	250mW	500mW – 4W
Frequency Hopping	FCC Part 15-247	FCC Part 15-247

AT\$ SF = [Payload]






Prefix Command Set/Get Argument(s)

Description	Command	Set/Get	Arg0	Arg1
Device ID	ID	?	n/a	n/a
Send Frame	SF	=	Payload[bytes]	Empty: no DL, 1: request DL
Continuous Wave	CW	=	Frequency (Hz)	0: stop, 1: start
...				

データ送信例) **AT\$SF=0123456789abcdef**

Sigfoxクラウド上でのメッセージ確認

← → ↺ 保護された通信 | https://backend.sigfox.com/ 🔍 📄 ☆ 📱 ⚙️ 📷 📺 📺

 SITE BASE STATION **DEVICE** DEVICE TYPE USER GROUP ▼    

INFORMATION

LOCATION

MESSAGES
















TRASH MESSAGES

EVENTS

STATISTICS

EVENT CONFIGURATION

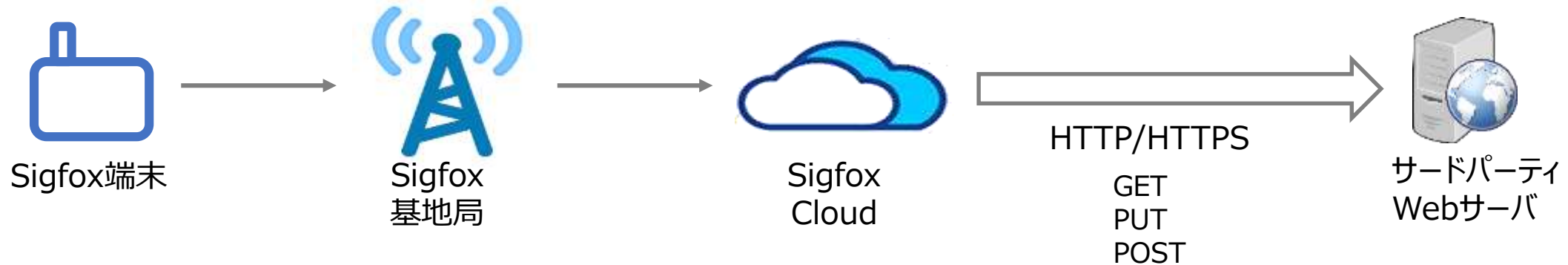
Device 1BCA5 - Messages Purge all messages

Time	Delay (s)	Header	Data / Decoding	Location	Base station	RSSI (dBm)	SNR (dB)	Freq (MHz)	Rep	Callbacks
2017-07-07 16:43:40	1.1	0000	000000040000000000220c7a		516D	-103.00	 48.51	923.2079	1	
					5117	-130.00	 20.75	923.2080	1	
					4FB3	-50.00	 9.84	923.2079	2	
2017-07-07 16:43:29	1.1	0000	000000030000000000230c75		516D	-95.00	 56.19	923.1964	3	
					5875	-116.00	 35.57	923.1887	2	
					4FBE	-109.00	 41.80	923.2110	2	
2017-07-07 16:43:18	1.2	0000	000000020000000000230c70		4FBE	-104.00	 46.62	923.1878	3	
					516D	-107.00	 44.52	923.2058	2	
					511C	-122.00	 29.37	923.2058	2	

※Base station, RSSI, SNR, Freq, Rep項目は、ベーシック権限では表示されません

Sigfox Callback機能

端末から送信されたデータは、SigfoxクラウドからHTTP/HTTPSによりサードパーティWebサーバに転送



◆ HTTP POST / JSONでメッセージを転送する例



URL : `http://www.foo.com/receiveapi`
HTTP Method : POST
Content Type : `application/json`

JSONメッセージボディ例)

```
{  
  "device" : "{device}",  
  "time" : {time},  
  "data" : "{data}"  
}
```

→ "1BA10",

→ 1471475944,

→ "1234567890abcdef"

端末ID

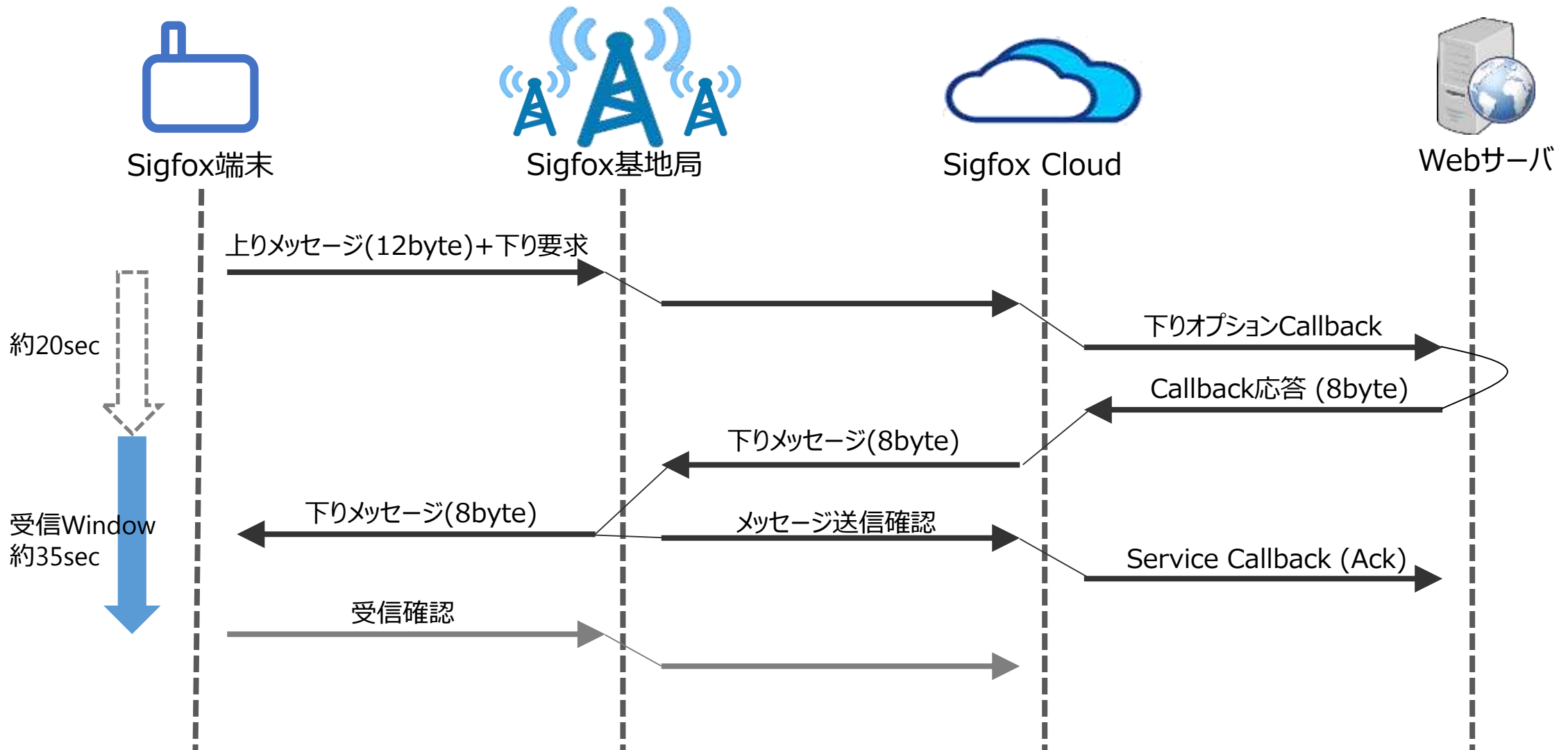
時刻(Unix Time)

データ(最大12byte)

下りサービス概要

※本サービスは制度改正後となります

KCCS
Exceed. Succeed.



AT\$SF = [Payload],[repeat],[ack]

```
>AT$SF=12345678901234567890abcd,2,1
```

```
R0-T1: 140ms T1-T2: 56ms T3-T2: 56ms
```

```
OK
```

```
RX BEGIN
```

```
+RX=00 00 58 6a 00 00 ff ae
```

```
RSSI = -82
```

```
R0-T1: 140ms T1-T2: 91710ms T3-T2: 0ms
```

```
+RX END
```

上りメッセージ + 下り要求コマンド *

AT\$SF=[up-message],[repeat],[ack]

message : 上りメッセージ

repeat : リピテーション回数(デフォルト=2)

ack : 下り要求 (要求時=1)

デバイス受信処理

RX BEGIN : 受信開始

+RX = [...] : 受信メッセージ

RSSI : 基地局の受信レベル

受信確認メッセージ送信

*コマンドはモジュールにより異なります

© KYOCERA Communication Systems Co., Ltd.

上り／下りメッセージの確認

上り／下りのメッセージは、Sigfox Backend Cloudの [DEVICE]_[MESSAGES]で確認できます

Device 77BDE - Messages

Purge all messages

RESET FILTER CSV

page 1

Time	Delay (s)	Header	Data / Decoding	Location	Base station	RSSI (dBm)	SNR (dB)	Freq (MHz)	Rep	Callbacks
2017-06-06 09:33:46	1.6	0010	09bd0cb80c1f014a Temp: 28.7 °C VDD idle: 3.261 V VDD tx: 3.256 V RSSI: -26.0		586A 585A	-90.00 -84.00	60.74 66.81	923.2080 923.2080	1 1	↑
2017-06-06 09:33:10	2.7	0000 ack required	12345678901234567890abcd		586A 585A	-82.00 -84.00	69.00 67.19	923.1983 923.1983	3 3	↑↓
2017-06-06 09:32:27	1.9	0000	0000		586A 585A	-95.00 -95.00	65.88 65.88	923.2050 923.2050	3 3	

Downlink status - Acked

Status : [ACKED]
Base station : 586A
Data (Hexa) : 0000586a0000ffae

下り受信確認 Message

上り Message

下り Message

Sigfoxエコシステム



チップ、RFモジュール、デバイス



基地局



バックエンド
(クラウド)



IoTサービス
プラットフォーム



etc.

オペレータ



etc.

Sigfox通信モジュール



WF923シリーズ



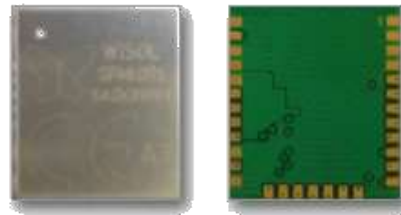
Type1NQ



KS-S01



SN10-11



WSSFM10



M2.COM



GPS, Wi-Fi, BLE, Accelerometer等
との複合モジュールもあります

Sigfox 通信モジュール・チップ お問い合わせ先

	メーカー	窓口部門	窓口担当者名 (敬称略)	メールアドレス	電話番号
モジュール	SMK	営業本部 インダストリー市場部	林 正樹	hayamasa@smk.co.jp	03-3785-4808
	村田製作所	営業本部営業2部	千田 基	mochi@murata.com	075-955-6521
	Wisol (韓)	ワイソルジャパン	笠井 良修	y.kasai@wisol.co.kr	044-589-4246
	InnoComm (台)	イノコムモバイルテクノロジー	前田 悟	Satoru.maeda@innocomm.com	070-4168-9978
	旭光電機	技術部	和田 貴志	wada@kyokko.co.jp	078-341-1837
チップ	On Semiconductor	Automotive営業部	橋内 望	Nozomu.Hashiuchi@onsemi.com	03-5427-3066
	ラピスセミコンダクタ	ローパワーLSIビジネスユニット	野田 光彦	noda698@dsn.lapis-semi.com	045-476-9297
	STマイクロエレクトロニクス	アナログ・RF・センサ製品部	安治 直樹	naoki.aji@st.com	03-5783-8397
	Texas Instrument	営業・技術本部	野中 英博	h-nonaka@ti.com	03-4331-2382

ヨーロッパでのユースケース



ボタンデバイス



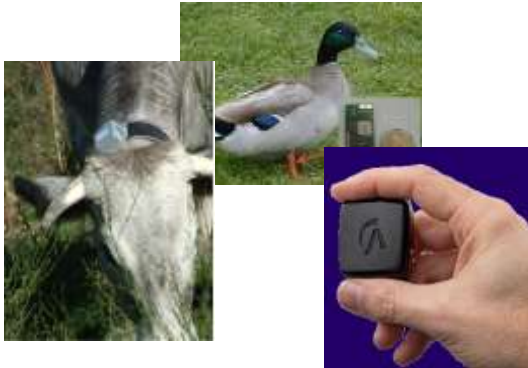
水道スマートメーター



下水道水位管理



設備リモート管理



GPSトラッカー



スマートパーキング



見守り端末



AEDモニタリング



線路温度、ケーブル張力



配送通知サービス



スマート農業



スマート物流

項目	仕様
送信周波数	923.2MHz (26ch)
帯域幅	100Hz
空中線電力	20mW
アンテナ利得	2.15dBi
受信感度	-132dBm
インターフェース	mini USB2.0 x 1
消費電力	最大50mW (バッテリー内蔵)
寸法	80 x 40 x 20 mm (アンテナ部含まず)
質量	50g
動作温度範囲	0 ~ +50℃



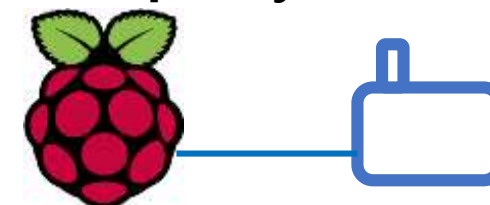
ITSELF (push button)



with PC



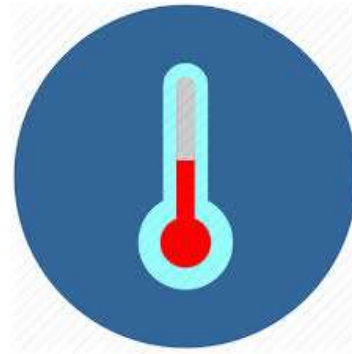
with Raspberry Pi



with Arduino



Multi Sensor Device - Sens'it



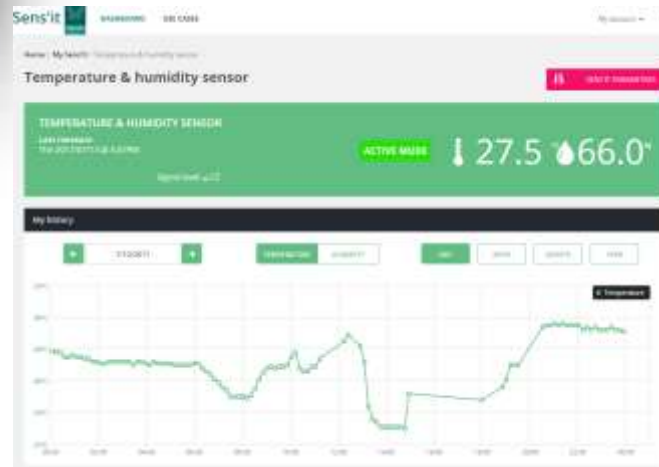
**TEMPERATURE
HUMIDITY**



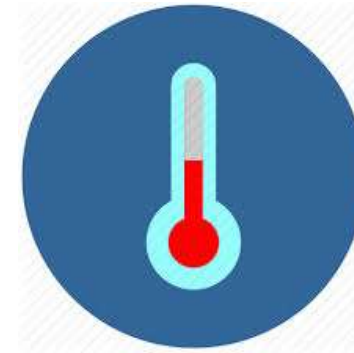
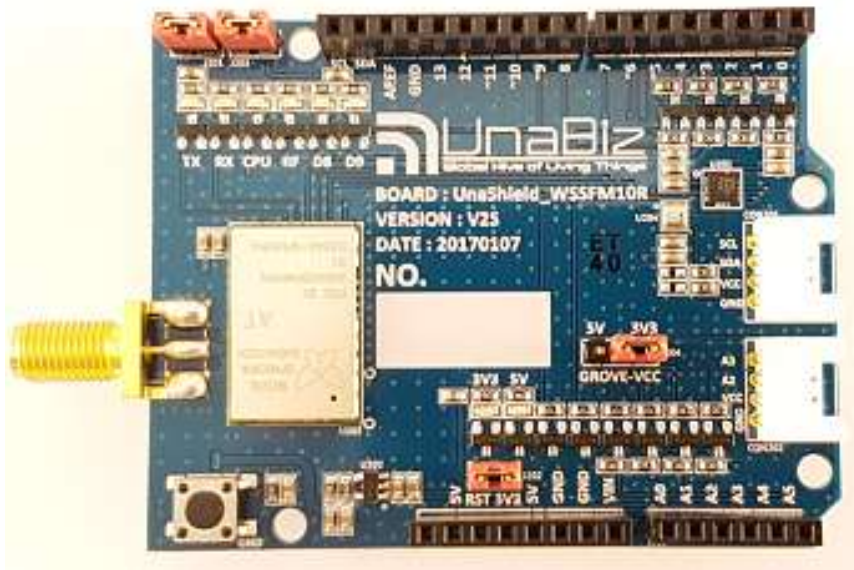
LIGHT



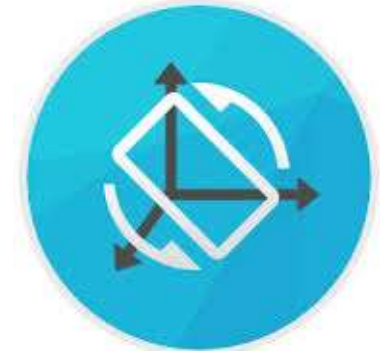
**ACCELEROMETER
MUGNET**



Sigfox Shield for Arduino



TEMPERATURE
HUMIDTY
PRESURE



ACCELEROMETER

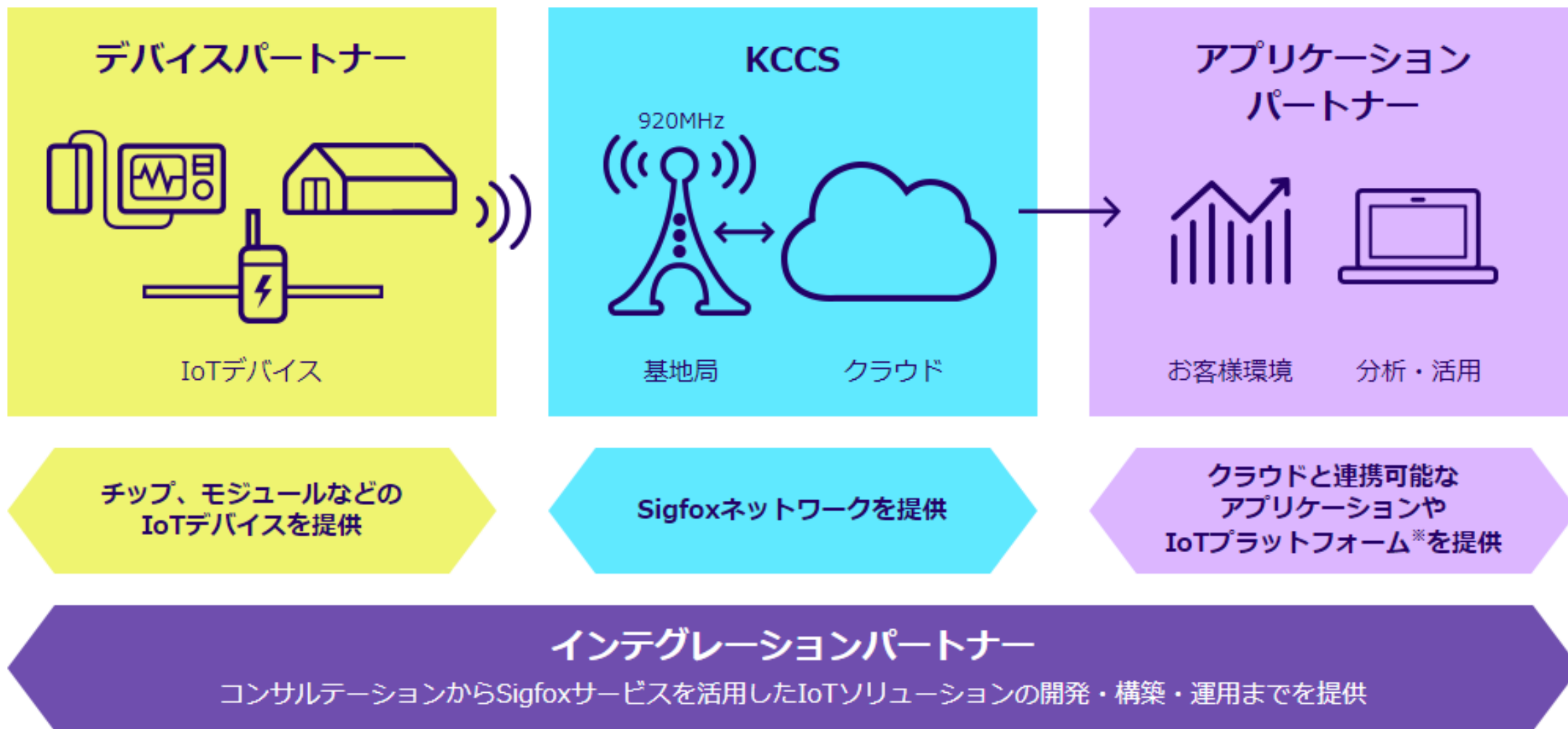


🦋 デバイス開発メーカー向け（海外向け）にUSB型基地局エミュレータを提供



Sigfoxネットワークエミュレータ

- Sigfox無線モジュール、デバイス開発パートナー様向け
- USBタイプで、PC（Linux）と接続し基地局を模擬
- 最大5デバイスを登録し、接続検証が可能
- 複数の無線ゾーン（RZC）設定が可能



※IoTプラットフォーム：IoTサービスの提供において必要な処理をあらかじめクラウド側で用意しておき、簡単に利用できるサービス

✧ Sigfox認証プログラムを取得いただくことで、商用ネットワークに接続することができます



Precisely Right.

チップ／モジュール(P1) Sigfox Verified



Sigfox通信プロトコル、
電波特性試験 等

エンドデバイス(P2) Sigfox Ready



上り伝送試験
送信出力(EIRP)確認

IoTプラットフォーム(P3) Sigfox Ready PaaS



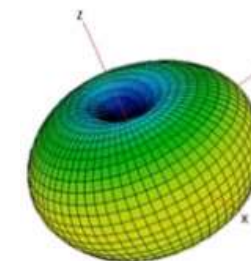
Sigfoxクラウドとの接続

- テュフ ラインランド社がSigfoxの公式認証試験ラボに認定されました
P1、P2認証にあわせて、電波法認証のための認証試験も可能です
- Sigfox認証プログラムをご希望の方は、
Sigfox Japan KKもしくは当社窓口（sigfox-partner@kccs.co.jp）にご連絡ください

Sigfox Ready Certification (P2) の流れ

✧ EIRP（実効輻射電力）はP2認証の重要なファクターです

			Class 0u	Class 1u	Class 2u	Class 3u
RC1	欧州	868-868.6 MHz	$16\text{dBm} \geq \text{EIRP} \geq 12\text{dBm}$	$12\text{dBm} > \text{EIRP} \geq 7\text{dBm}$	$7\text{dBm} > \text{EIRP} \geq 2\text{dBm}$	$2\text{dBm} > \text{EIRP}$
RC2	米国/ APAC1	902.1375- 904.6625 MHz	$24\text{dBm} \geq \text{EIRP} \geq 20\text{dBm}$	$20\text{dBm} > \text{EIRP} \geq 15\text{dBm}$	$15\text{dBm} > \text{EIRP} \geq 10\text{dBm}$	$10\text{dBm} > \text{EIRP}$
RC3	日本/ 韓国	920.5-929.7 MHz	$16\text{dBm} \geq \text{EIRP} \geq 12\text{dBm}$	$12\text{dBm} > \text{EIRP} \geq 7\text{dBm}$	$7\text{dBm} > \text{EIRP} \geq 2\text{dBm}$	$2\text{dBm} > \text{EIRP}$
RC4	南米/ APAC2	920.1375- 922.6625 MHz	$24\text{dBm} \geq \text{EIRP} \geq 20\text{dBm}$	$20\text{dBm} > \text{EIRP} \geq 15\text{dBm}$	$15\text{dBm} > \text{EIRP} \geq 10\text{dBm}$	$10\text{dBm} > \text{EIRP}$



Sigfox Geolocation Service

- GPSを必要としない、低消費電力位置情報サービス
- Sigfoxモジュールを搭載した すべてのデバイスで提供可能
※Geolocationオプションサービスへの加入が必要
- Callback機能により、パートナーWebサーバに転送可

Sigfox based

Realtime

Kms range
accuracy



Device location



Device tracking

ヨーロッパでのユースケース

KCCS
Exceed. Succeed.



ボタンデバイス



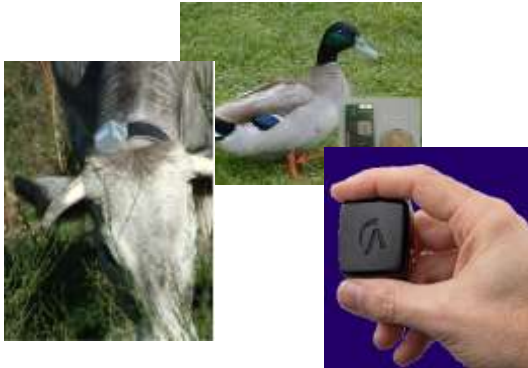
水道スマートメーター



下水道水位管理



設備リモート管理



GPSトラッカー



スマートパーキング



見守り端末



AEDモニタリング



線路温度、ケーブル張力



配送通知サービス



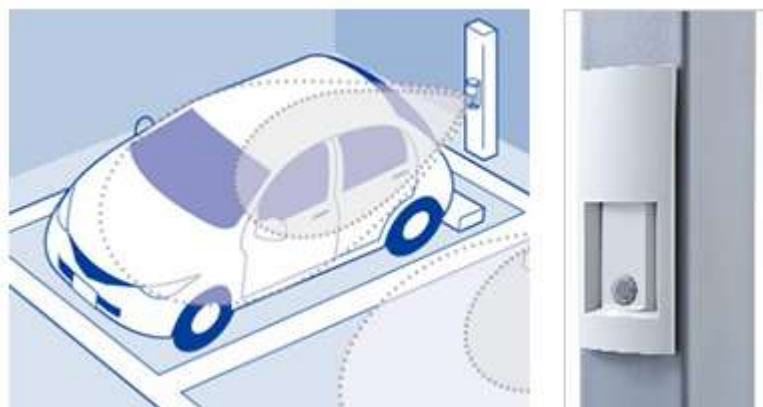
スマート農業



スマート物流

スマートパーキング

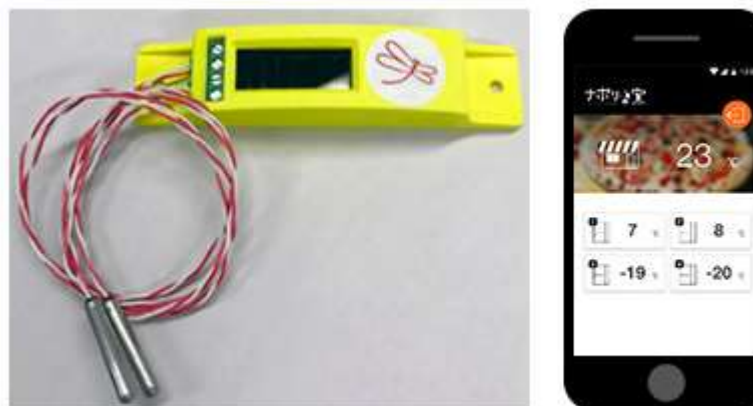
- 東京都内で管理・運営されているコインパーキング向け車両検知システム
- 駐車場に設置した車両検知センサとSigfox通信を連動させ、クラウド経由で車両の駐車状況（満空）が確認できる仕組みを構築
- 駐車場の地中にループコイルセンサを埋設工事することなしに最小限の投資で車両管理が可能



【提供】 オプテックス株式会社

温度監視

- 株式会社ストロベリーコーンズが運営する宅配ピザ「ナポリの窯」の冷蔵庫、冷凍庫および作業空間の温度監視
- より細かく温度監視を行うことで、ピザ生地や材料の品質を保持
- 15分毎に各冷蔵庫の温度をクラウドに送信し、専用アプリで監視



【提供】 アイ・サイナップ株式会社

厨房機器の状態監視

- 飲食店内の各種厨房機器の状態監視
- 厨房機器の温度変化や電動モーターの振動などを遠隔監視することで、保守・メンテナンスの効率化を図る
- 電力量、庫内重量、備品使用量、温度データを1日2回程度送信／電池は数年間の稼動を想定
- Sigfoxを活用することでインシャルコスト、ランニングコストを削減



【提供】 旭光電機株式会社

水道自動検針

- 水道メーターの自動検針システム
- 難検針地区における検針業務効率化や、多くのデータを集めることにより生活習慣の見える化や設備の運転効率化を期待



【提供】アズビル金門株式会社

在庫管理

- オフィス向け菓子の在庫補充システム
- Amazonダッシュのように、在庫切れ時にボタンを押すことにより、追加補充が可能



【提供】KCCSモバイルエンジニアリング株式会社
株式会社ACCESS

灯油残量モニタリング

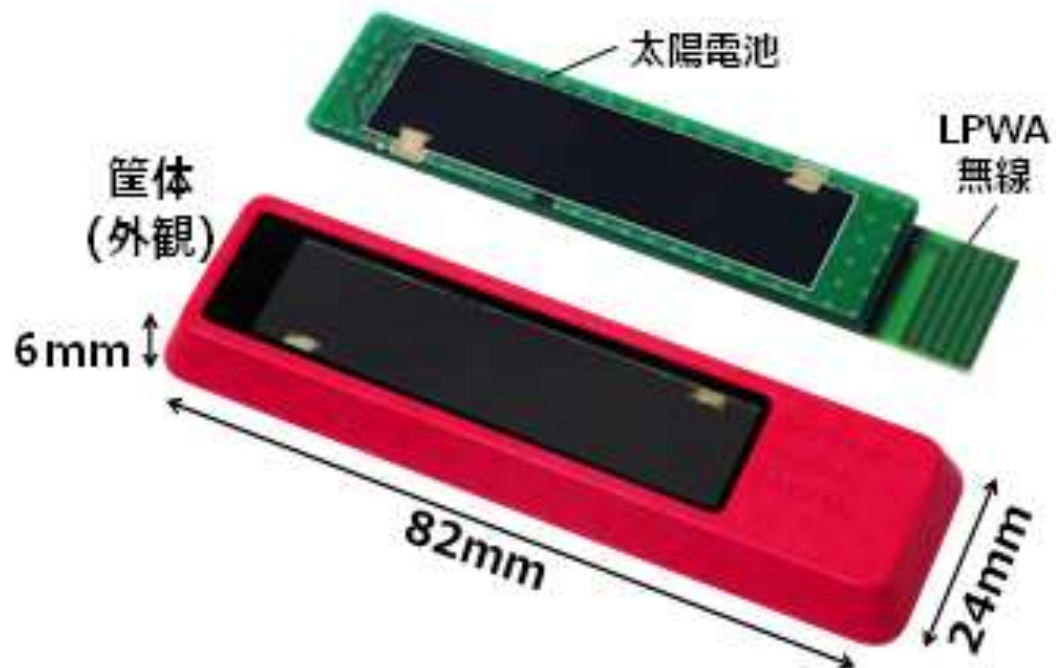
- 寒冷地における宅内暖房の灯油タンク残量検知サービス
- 灯油がなくなったら補充依頼する仕組みから、サービス事業者による事前補充へ



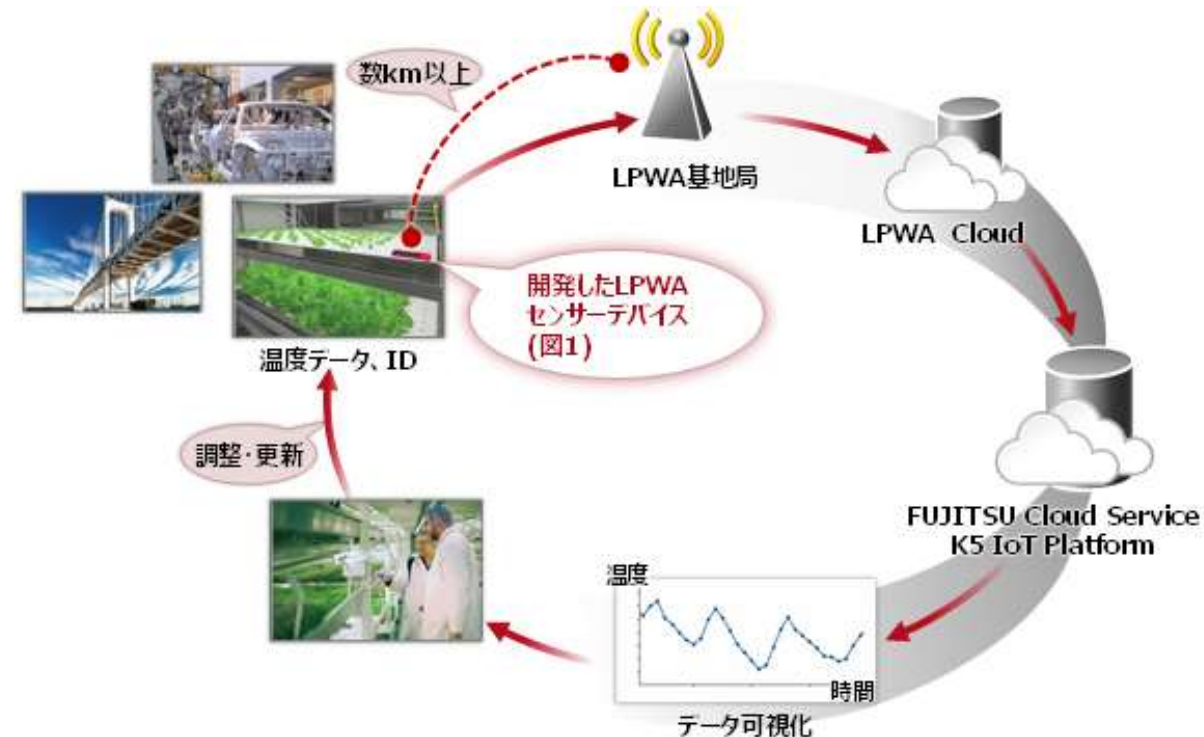
【提供】ゼロスペック株式会社

LPWA対応・電池交換不要の世界最小センサデバイスを実現

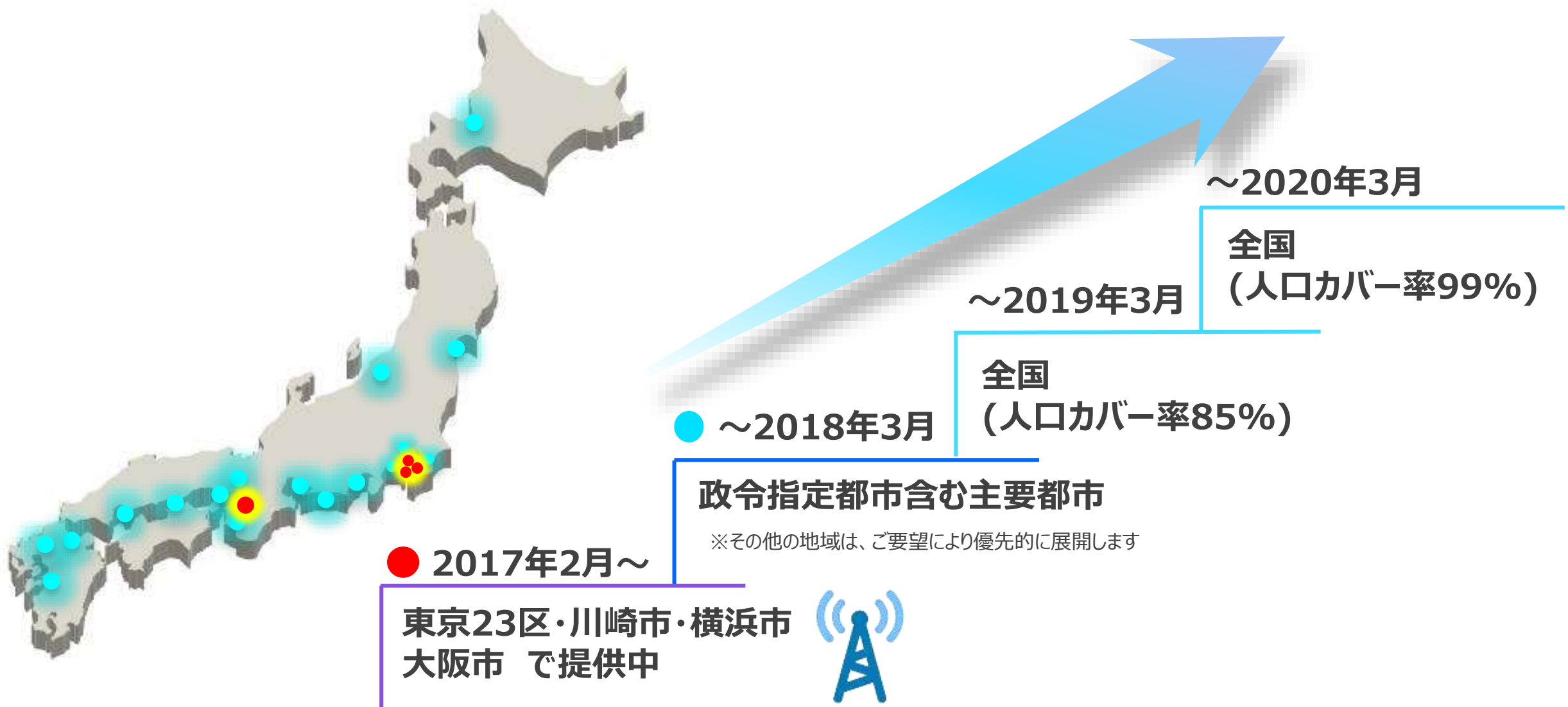
82×24×6mmの小型センサーを置くだけで、
数km先の現場データをクラウドに直接送信



【提供】株式会社富士通研究所



国内エリア展開計画



**Sigfoxエリアをご希望の方に
基地局レンタルサービスを提供**

**ご利用のSigfoxデバイスは
KCCSサービスエリアで利用可能**



初期費用：¥24,800

月額費用：¥9,800

10回線無償提供*

270+ Partners

Device Partners

78



Kyocera Communication Systems

Integration Partners

164



Application Partners

74



SigfoxネットワークがIoTコスト構造を変革

安価なチップ・モジュール



デバイス開発費・単価の削減



Sigfoxクラウド提供



システム開発費用の削減



グローバルワン・ネットワーク



開発したシステムを世界展開



IoTソリューションのトータルコストを削減！

Sigfoxクラウド

<http://backend.sigfox.com>

資料ダウンロード

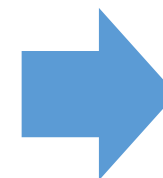
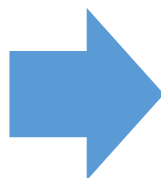
<http://tinyurl.com/sigfox03>

Pass : sigfox1234

Sigfox評価端末(KeyApp)を使ってみよう



- ①PCと評価端末をUSBシリアルケーブルで接続します
- ②ターミナルソフトを立ち上げ、シリアル接続します
※もし、COMポートとして認識しなかった場合、
FTDIホームページからドライバをダウンロードし、
インストールしてください
<http://www.ftdichip.com/Drivers/VCP.htm>
- ③下記ATコマンドでデバイスからメッセージを送信します
AT\$SF=[送信したいデータ] <Enter>
例) AT\$SF=12345678901234567890abcd



Xkit

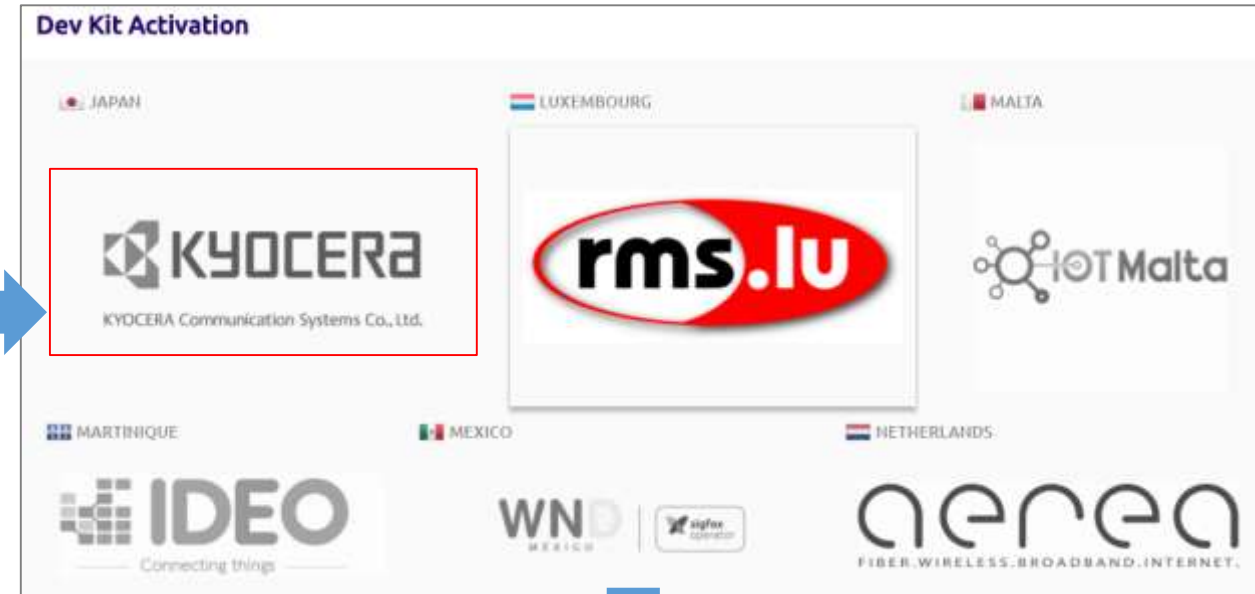
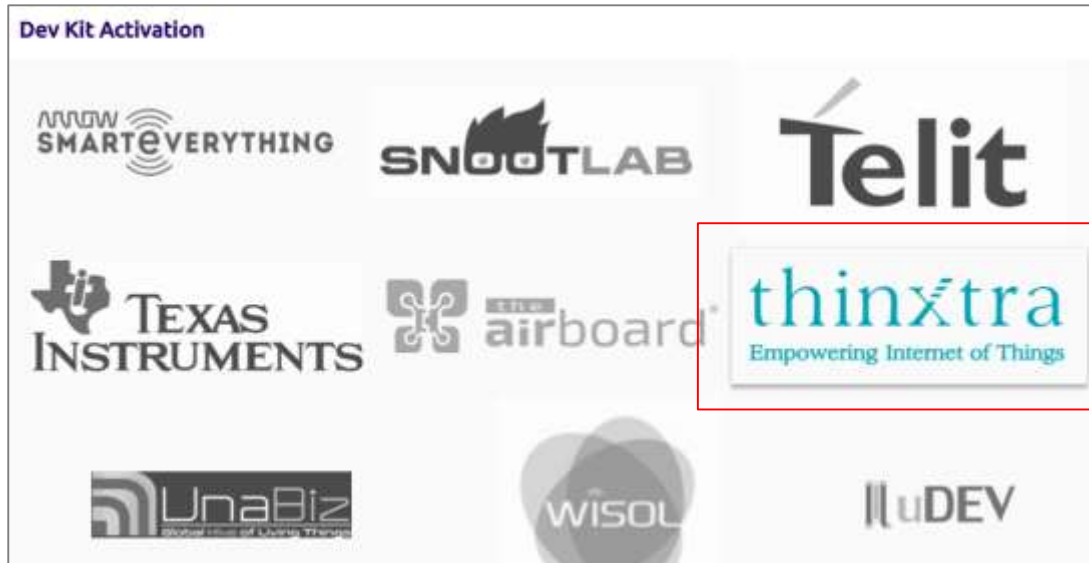
Sigfox Cloud

Thinger.io

Xkitから温度・気圧・照度・加速度のセンサーデータを**Sigfox**で送信し、
Thinger.ioのダッシュボードに表示しましょう

お持ち帰りXkitの方

<https://backend.sigfox.com/activate>



Dev Kit Activation

Account creation
Already have an account? [Sign in](#)

FIRST NAME *

Gaku

LAST NAME *

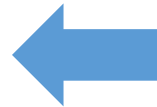
Hibi

EMAIL ADDRESS *

hibigaku@xxx.com

TIMEZONE

Asia Tokyo



Dev Kit Activation

Activate your Sigfox subscription included with your Thinxtra Solutions kit.

Pick your country Device information Account details

DEVICE ID (HEX)

7B0E92

PAC

12345678901234567890ABCD

BACK NEXT

12 -> Device Type : Xkit Demo12



Xkit

SITE BASE STATION DEVICE **DEVICE TYPE** USER GROUP ▼

Device type - List New

Name Select a group Group

Include sub groups ☐ Display type

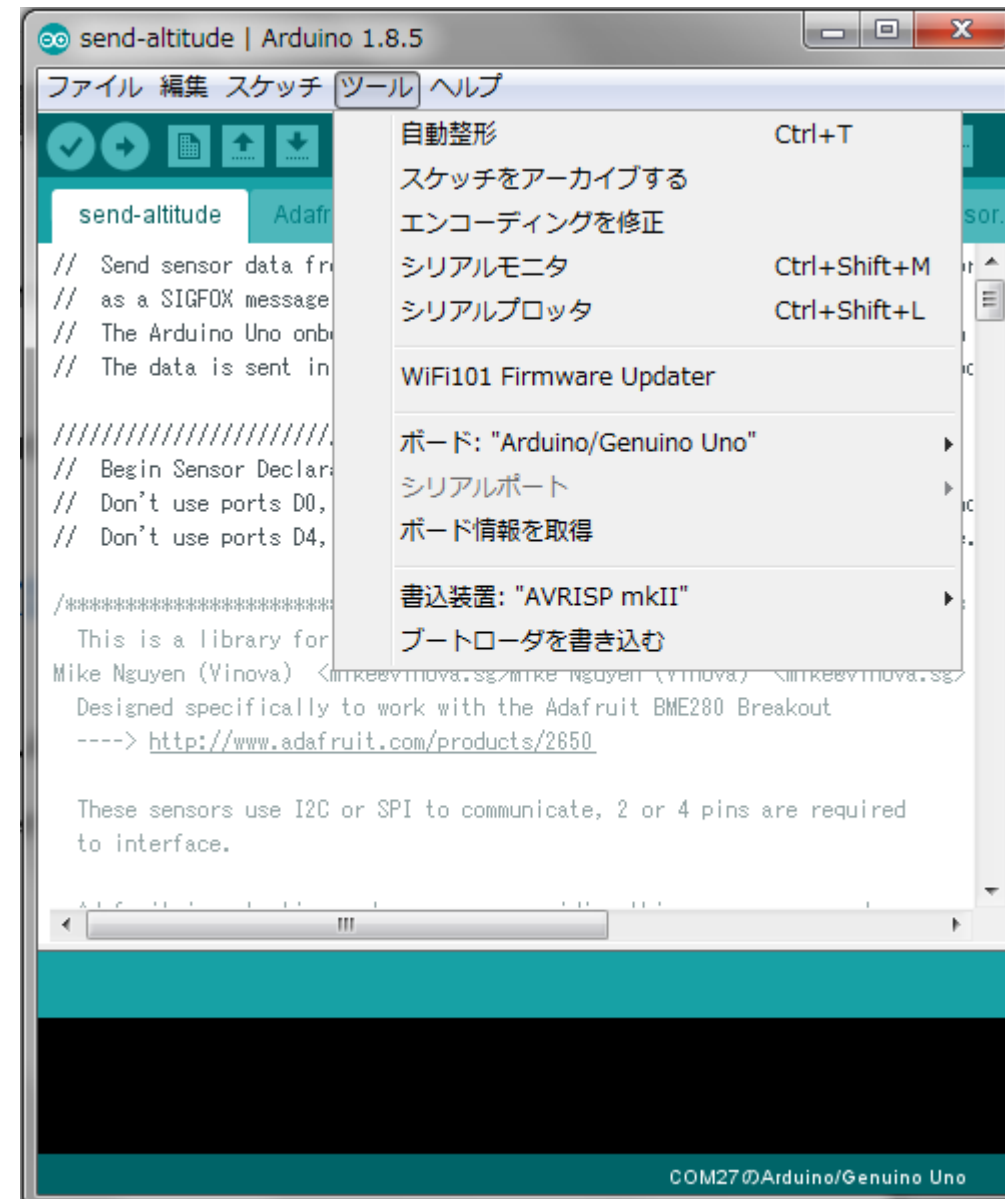
Name : Xkit+Demo12

Count : 1 / 537 page 1

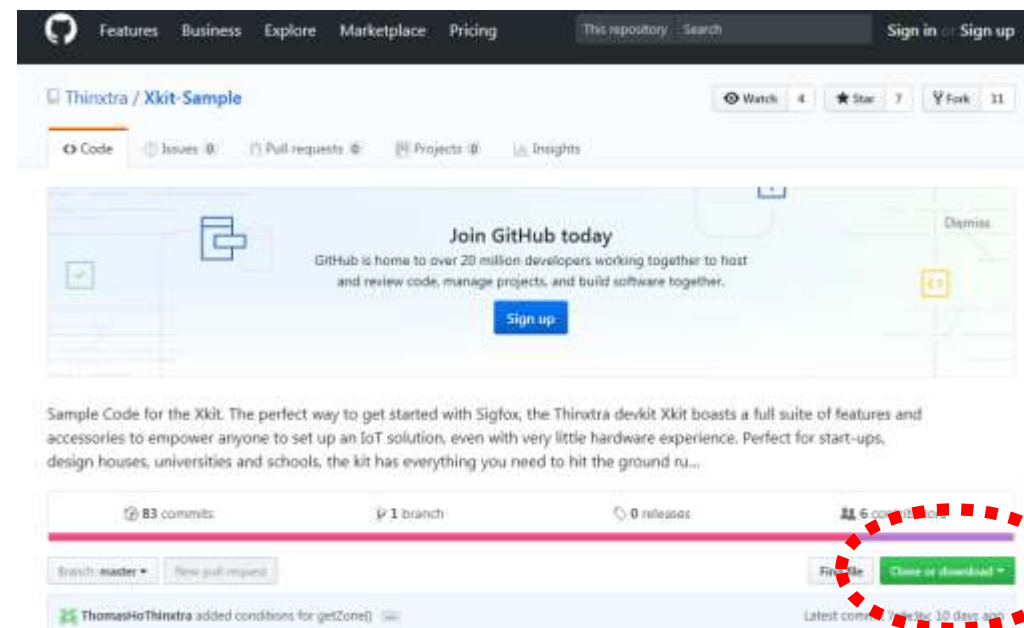
Description	Display type	Group	Keep alive	Name
Xkit Demo12 DeviceType	None	KCCS DEMO XKIT	N/A	<input type="text" value="Xkit Demo12"/>

Arduino IDEのインストール

1. ご自身のOS環境（Windows, Mac OS X, Linux）にあったArduino IDEをダウンロード/インストール
<https://www.arduino.cc/en/Main/Software>
2. インストール終了後、Arduino IDEを起動
3. ツール_ボードメニューが“Arduino/Genuino Uno”となっていることを確認
4. ツール_書込装置が“AVRISP mkII”となっていることを確認
5. ArduinoとPCを付属ケーブルで接続し、シリアルポートとして認識されることを確認 *
6. ツール_シリアルポートメニューで認識されたCOM番号を選択



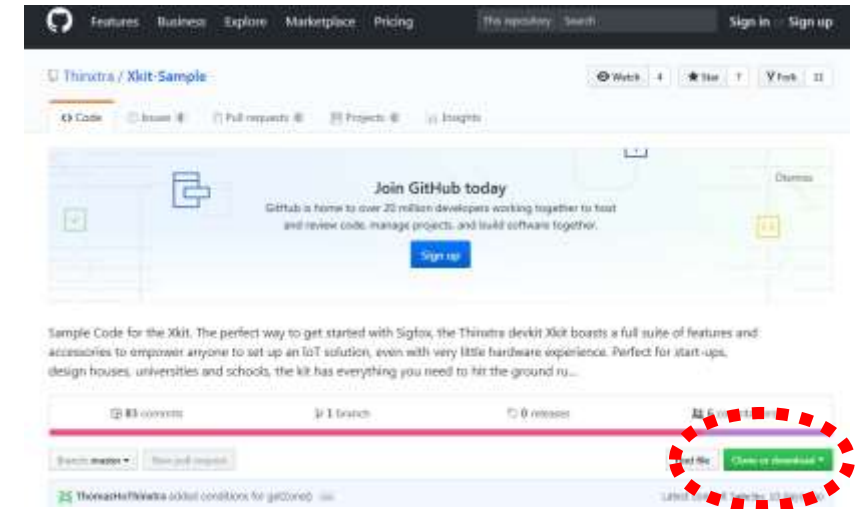
1. 下記URLからZIPファイルをダウンロード
<https://github.com/Thinextra/Xkit-Sample>
2. ZIPファイル解凍後、ライブラリディレクトリにIsigfox、SimpleTimer、Tsensorsフォルダをコピー&ペースト
<ライブラリディレクトリ>
Windows C:¥Users¥960350484¥Documents¥Arduino¥libraries
Mac OS /Users/<yourusername>/Documents/Arduino/libraries
3. Arduino IDEを再起動
4. スケッチ_ライブラリをインクルードメニュー内に下記3つが追加されていることを確認
Isigfox、SimpleTimer、Tsensors
5. ArduinoとPCを付属ケーブルで接続し、シリアルポートとして認識されることを確認 * (NGの場合は→)
6. ツール_シリアルポートメニューで認識されたCOM番号を選択



COMポートとして認識されていない場合は、
上記2.で解凍した中の
Document¥Program¥CH341SER.zipを解凍し、
SETUP.exeでドライバをインストールしてください
(Mac, Linuxの場合はzipファイルが異なります)

Windows OS

1. 下記URLからZIPファイルをダウンロード
<https://github.com/Thinextra/Xkit-Sample>
2. ZIPファイル解凍後、Document¥Program¥CH341SER.zipを解凍しSETUP.exeでドライバをインストール



Mac OS

1. 下記URLにドライバインストール方法記載（英語）
<https://github.com/Thinextra/ch340g-ch34g-ch34x-mac-os-x-driver>

1. 前頁、2. で解凍したフォルダ内のDemoAppフォルダを適当なディレクトリにコピー＆ペースト
※今回はP40でダウンロードしたDemoApp2.inoを使用します
2. Arduino IDEの開く...メニューからDemoApp2.inoファイルを開く
3. スケッチ _ 検証・コンパイルメニューからコンパイル
4. →P9ジャンパを外す
5. スケッチ _ マイコンボードに書き込むメニューでコンパイルしたスケッチを書込み
6. →P9ジャンパを戻す (つける)
7. ツール _ シリアルモニタを立ち上げ、動作確認



P9 (pins 1-2 and 3-4)

メッセージフォーマット



メッセージをメール宛先にCallback①

1. Sigfox Backend CloudのDEVICE TYPEメニューから、Xkit DemoXXをクリック
2. 左メニュー CALLBACKSをクリック
3. 右上の[New]ボタンをクリック
4. Custom callbackをクリック

The screenshot shows the Sigfox Backend Cloud interface for configuring a callback for device 'Xkit Demo01'. The left sidebar has 'CALLBACKS' selected. The main panel is titled 'Device type Xkit Demo01 - Callback edition'. It contains a 'Callbacks' section with the following fields:

- Type: DATA (dropdown), UPLINK (dropdown)
- Channel: EMAIL (dropdown)
- Send duplicate: ☐
- Custom payload config: temp:uint:16 pressure:uint:16 photo:uint:16 xg:int:16 yg:int:16 zg:int:16 (with a help icon)
- Recipient: hibisaku@gmail.com (with a note: 'Multiple emails allowed separated by comma, semicolon or new line')
- Subject: Callback Test {device}

Below these fields is a 'Message' preview area showing a JSON-like structure of data being sent:

```
データ: [data]
送信基地局: [station]
受信レベル: [rsi]dbm
温度: [customData#temp] / 100 °C
気圧: [customData#pressure] Pa
照度: [customData#photo] lx
加速度X: [customData#xg]
加速度Y: [customData#yg]
加速度Z: [customData#zg]
```

At the bottom are 'Ok' and 'Cancel' buttons. Copyright information for Sigfox is visible at the bottom of the page.

KCCS
Exceed. Succeed.

```
Message :
    デバイス: {device}
    時刻: {time}
    データ: {data}
    受信基地局: {station}
    受信レベル: {rssi}dBm
```

※Xkitの黒ボタンを押してください

© KYOCERA Communication Systems Co., Ltd.

メッセージをメール宛先にCallback③

Type : DATA _ UPLINK

Channel : EMAIL (メールに転送)

Custom payload config :

temp::uint:16 pressure::uint:16 photo::uint:16 xg::int:16 yg::int:16 zg::int:16

Recipient : xxx@yyy.com(ご自身のメールアドレス)

Subject : Callback Test {device} (ご自由に)

Message :

デバイス: {device}

時刻: {time}

データ: {data}

受信基地局: {station}

受信レベル: {rssi}dBm

温度: {customData#temp} / 100 °C

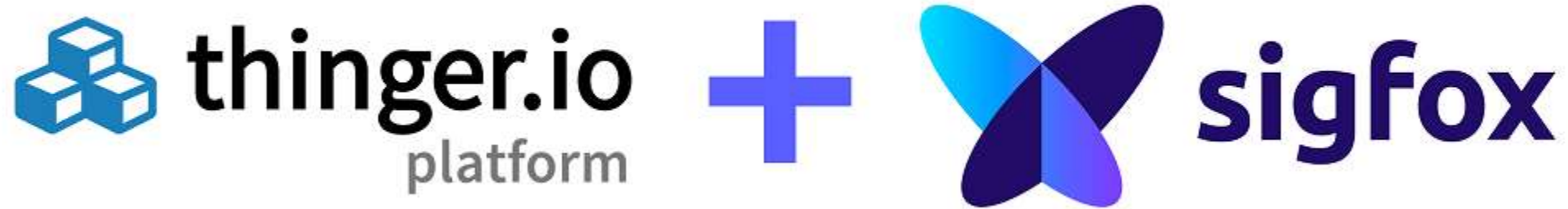
気圧: {customData#pressure} Pa

照度: {customData#photo} lx

加速度X: {customData#xg}

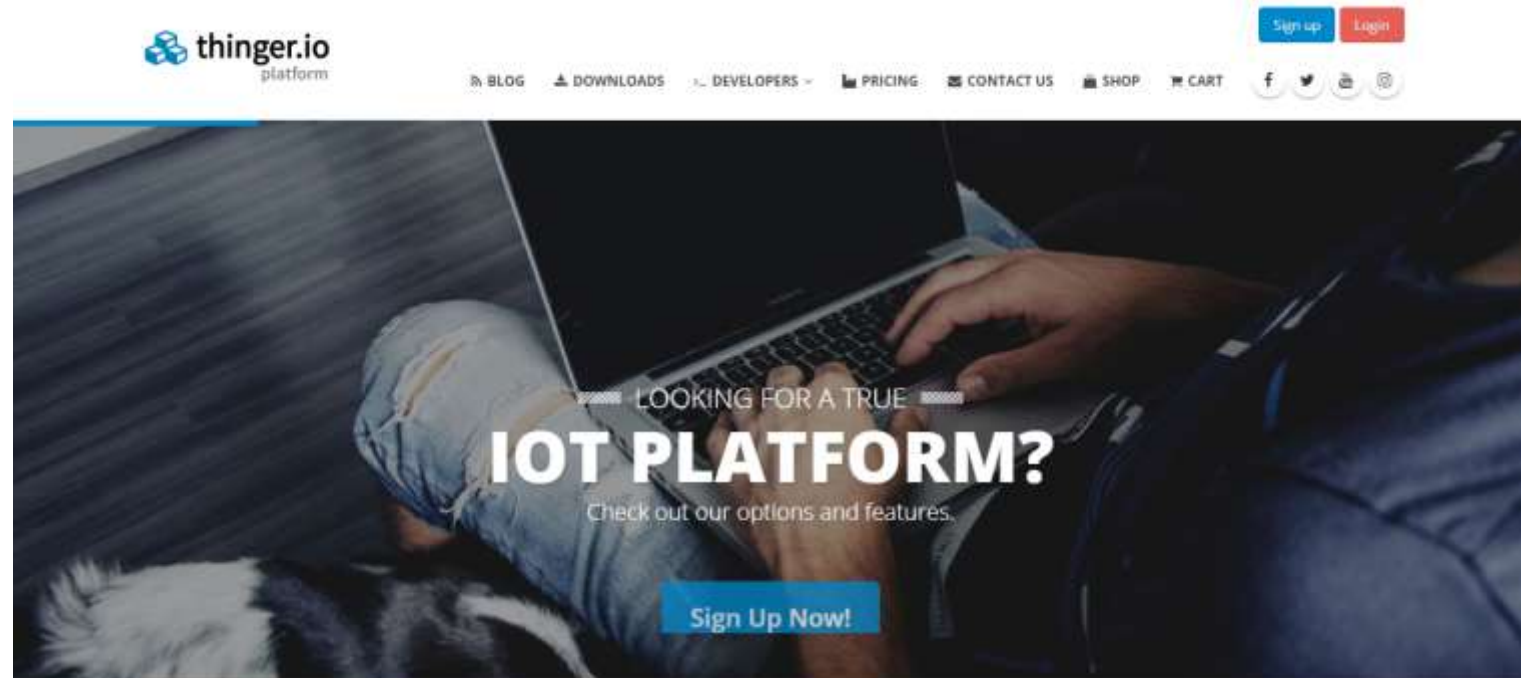
加速度Y: {customData#yg}

加速度Z: {customData#zg}



<https://thinger.io>
で Sign Up

➡ User IDはSigfoxクラウド側の
設定で使います



メッセージをWebサーバにCallback②

thinger.io側設定

1. Data Buckets画面で [+ Add Bucket]をクリック

2. Bucketの設定

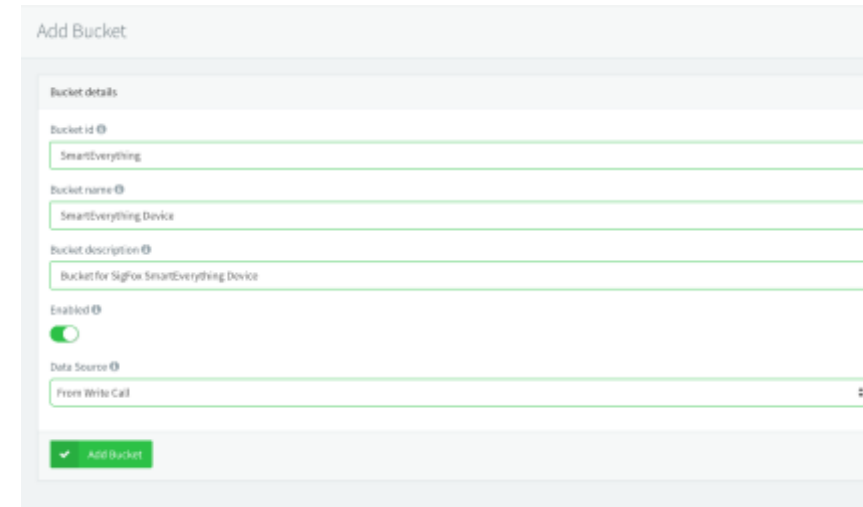
Bucket ID : SmartEverything ➡ Sigfoxクラウド側の設定に使用します

Bucket name : 任意

Bucket description : 任意

Enabled : true ☒

Data Source : From Write Call



3. Access Tokens画面で[+ Add Token]をクリック

4. Tokenの設定

Token ID : SmartEverything

Token name : 任意

Enabled : true ☒

Token Permissions : [+Add]をクリック、下記設定を入れ[Add]をクリック

Select Permission Type : Bucket

Access : Specific resourceを選択し、Bucket ID (今回はSmartEverything)を選択

Actions : Select specific actionを選択し、WriteBucketを選択



5. 表示された**Access Token**をコピーし、[Save Token] ➡ Sigfoxクラウド側の設定に使用します

メッセージをWebサーバにCallback③

Sigfox Backend Cloud側設定

Type : DATA _ UPLINK

Channel : URL (Webサーバへ転送)

Custom payload config :

temp::uint:16 pressure::uint:16 photo::uint:16 xg::int:16 yg::int:16 zg::int:16

Url pattern : https://api.thinger.io/v1/users/{thinger.ioのユーザID}/buckets/{Bucket ID}/data

※コロン(:)は半角です

Use HTTP Method : POST

Header : Authorization Bearer {thinger.ioのAccess Token}

Content type : application/json

Body: (右参照)

※Xkitの黒ボタンを押してください

```
{
    "device" : "{device}",
    "data" : "{data}",
    "station" : "{station}",
    "rssi" : {rssi},
    "temp" : {customData#temp},
    "pressure" : {customData#pressure},
    "photo" : {customData#photo},
    "AccX" : {customData#xg},
    "AccY" : {customData#yg},
    "AccZ" : {customData#zg}
}
```

Technical Information : <http://build.sigfox.com>
<http://makers.sigfox.com>

Partners Solution : <http://partners.sigfox.com/>

Docs : <http://resources.sigfox.com>

Videos : <http://youtube.com/sigfox>

Q&A : <http://ask.sigfox.com>

The background of the advertisement features a city skyline at dusk or dawn, with a network of white lines and dots overlaid, suggesting an IoT network. Several circular icons are scattered across the image: a heart rate monitor at the top, a gear on the left, a speedometer on the right, a location pin at the bottom left, and a sun at the bottom center.

SIGFOX

[IoTネットワーク]

すべてのモノが「つながる」
新たな未来へ

<Twitter>



<Facebook>



【お問い合わせ】

京セラコミュニケーションシステム株式会社 パートナー連絡窓口

TEL : 03-5765-8632 E-mail : sigfox-partner@kccs.co.jp

※製品の仕様などは予告なく変更させていただく場合があります。 ※KCCSは京セラコミュニケーションシステム株式会社の略称です。
※記載の製品ならびにサービス名および会社名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

© KYOCERA Communication Systems Co., Ltd.